

ジャパン祭 2010 (9月18日)



2009年9月歴史豊かなスピタルフィールドマーケットにて、現代的な祭りがロンドン初の規模で開催されました。以前にも「祭り」は、1991年及び2001年にハイドパークで行われましたが、今回のジャパン祭は、近代的で活力のある商業地かつ住宅地の真ん中で開催された初の日本人コミュニティの祭典となりました。当日は、さまざまな世代や国籍の3万5千人ほどの方々にご来場いただき、活気あふれる華やかなイベントとなりました。メディアの反響も大きく、イベントの様子は多数のインターネット・ブログやビデオで伝えられました。

会場

スピタルフィールドのマーケットの歴史は、13世紀にまで遡ります。何世紀もの間、ヨーロッパから渡英した人々や文化の流れと共に幾度となくその住人を変えつつも、スピタルフィールドの地域は常にロンドンの商業の中心として繁栄してきました。

今日このスピタルフィールド・トレーダーズ・マーケットを管理運営するハマーソン株式会社は、地域の人々とビジネス社会、双方との結びつきを重要視し、双方にとって利便の良いマーケット作りを志しています。リバプールストリート駅すぐ近くに位置し、多くの日本企業の拠点となる地域にあることから、スピタルフィールドマーケットは、この大志に満ちた新しい祭りの開催地に選ばれました。2010年11月にハマーソン株式会社の再建ディレクター、マイケル・ベアー氏がロンドン市長に選任されたことで、ロンドン中心部であるシティ・オブ・ロンドンとの繋がりはより強いものとなりました。

主催者

ジャパン祭は、本質的にはコミュニティのプロジェクトです。ロンドンの日本人コミュニティの方々が、日本のお祭りと同じように、食べ物や音楽、踊りなどを多国籍の友人や隣人と祝い楽しめるようなイベントです。この全員参加型のイベントでは、各在英日本企業に寄付やボランティアという形でご支援いただき、日本レストランや他様々なジャンルのトレーダーやパフォーマーに出店、ご参加いただきました。

主催者に求められていたのは、多種多様な参加者の視点を理解、考慮し、その上で揺ぎ無いひとつのビジョンを構成し、イベント成功のための現実的プランを作成することでした。日本大使館、在英に本商工会議所、日本クラブにご協力をいただきながら、日本協会及び英国日本人会の主導で開催されました。

ジャパン祭 2009

- 来場者 3万5千人 (多数がロンドン市内及びロンドン周辺地域から)
- 来場者の40%—日本人 (推定)
- 性別・年齢・国籍を問わない幅広い客層
- 屋台: 72店
- 28パフォーマー
- 10種類以上の家族向け参加型アクティビティ
- 近隣飲食店の売り上げが通常の土曜日の2倍。ジャパン祭の来場者で溢れ、人手不足に。補助スタッフへの呼びかけが必要になった。
- ジャパン祭ウェブサイト・アクセス総数 45,000 (内 11,000 アクセスは前2日間で。)
- Facebook ジャパン祭グループ、メンバー1400人以上。
- ヨーロッパで JSTV によりジャパン祭喉自慢大会の様子が放送される。(ノンカット・特別版およびミニ番組)
- 日本でも NHK ニュース (朝夕) で取り上げられる。
- 写真、ビデオ等、ウェブ上で多数紹介 (YouTube, Flickr, The Londonist, 個人のブログなど)



ジャパン祭 2009 関連リンク

- ビデオ (著作権 Don Productions)
<http://www.youtube.com/v/YLnlwYX2EJA&hl=en&fs=1%22>
- ウェブサイト
<http://www.japanmatsuri.com>
- フォト・ギャラリー
<http://www.flickr.com/photos/japansocietylondon/>

